



PORSCHE 911  
空冷ポルシェ、乗らずに死ねるか



見慣れたエンジンルームは  
シンプルにして強力

見慣れた911系のエンジンだが、写  
真のRSはエアコンのコンプレッサー  
がない。一方、エンジンは排気系と  
コンピューターのチューンによりノ  
ーマル比10psの向上を実現している。



短命だったが  
4WDの登場等  
新起点となった

モデルのライフサイクルこそ、わずか5年と短かったが、  
モデルのタイプやボディのバリエーションなどは、決して930や911  
に負けではない。ナローからの流麗なボディを色濃く残したうえ  
で、なおかつ5年の間に何度も手が入り、安心のメカニズムや静  
肅で快適な車内が実現されているのだ。

1989年2月

964ボディのカレラ4生産開始。排気量3600ccから250psを発揮。そ  
して959V12の4WDシステムが、新しい911の姿を予感させた。

1990年

964ボディのカレラ2が、高い完成度で登場。964というコードはカ  
レラ4を意味すると思っていたポルシェ・ファンは、RRポルシェの登  
場に胸をなで下ろしたり、930の消滅にガックリしたり。カレラ4、  
カレラ2いづれのモデルもクーペ、タルガ、カブリオレを選ぶことが  
できた。

1991年

964になってから消滅していたターボが、320psというパワーを引  
って復活。またワンメイクレース車両のロードゴーイングバージ  
ョン、カレラRSも964ボディに加わった。

1993年

911ターボは360psを叩き出す3.6へと発展し、カレラ2スピードスター  
も登場。5年目に964モデルはその役目を終えた。

1994年

911カレラ、993ボディをまとめて登場。

## 964ボディの代表 '92カレラRSの魅力に迫る

可変式リア・spoiler

速度に応じて上下  
するスポイラー

前後の重量配分で苦しん  
できた911は、少しでも走  
行性能を高めるため、空  
力特性にはことさら積極  
的に取り組んできた。'93  
カレラでダックテールを  
成功させて以来、高性能ポルシェはみな、  
ウイングを背負ってきた。そして964は  
ついに、時速80kmで上り、時速が10km  
に下がると格納されるリアスパイラーを  
装備した。もちろん手動でも操作できる。

ヘッドライトあたり

可変式リア・spoiler

バッテリー横に  
キルスイッチ装備

後ろのオーバーハングに重い  
エンジンを積む911は、  
少しでも重量バラ  
ンスを改善するため、バッテリーなどを  
フロントギヤギヤに配置する。  
このキルスイッチは、RSならではのレー  
シーな装備だといえる。

ホイール

964にはディッシュタイプ、カ  
ップデザインの16inchと17  
inchが用意されていた。ただ  
し、RSはマグネシウムの17  
inchサイズを奢られる。

赤一色のランプが  
凄みを感じさせる

赤の基調で統一された、RSの  
テールランプアッセンブリー。  
左からターン、ポジション&  
ブレーキ、バックアッサンブ  
リ、そしてリアフォグランプ、  
そしてリアフォグランプの順で並んでいる。

メーターまわり

内張りも簡略化された  
RSのスバルタンな車内

不变の5連メーターも、ダッシュボードも、より近代的に  
見慣れた911のメーターまわりだが、よく見ればひとつのメーターにも、やは  
り進化のあとが見てとれる。ちなみにRSではオーディオも省略されている。

可変式リア・spoiler

可変式リア・spoiler

精悍な顔つきを演出する  
大きなサイズのバンパー

かさ上げされた車体をバランスよく整え、  
911に新たなスタイルを与えたバンパー。  
ちなみにRSのフォグはダミー板。

ミラー

通称“ターボミラー”が  
'92年よりラインアップ

'78年より使い続けてきた、通称ビ  
ッグミラーに代わり、「92年からは通称タ  
ーボミラーを採用。スタイリッシュに。

コクピット

6、カレラRS、RS3・8、カッ  
ブカーレース用のカレラなど多種登  
場し、ボディタイプでもクーペ、カ  
ブリオレにタルガはもちろんのこと、  
カブリオレのターボルック、そして

最終年度にはスピードスターも登場。  
短いながら、そのモデルライフは百  
花繚乱にぎわいだつたのである。



CarEx

悲運な、過渡期の911

## 数々の新技术を生み 993へバトンを渡す



'92年型カレラRS

エンジン Spec 3600cc 260ps / 6,100rpm  
324km / 5,000rpm

**ある意味で、いちばん  
購入メリットの高い911**  
'89年、まだ先行してカレラ4が登  
場したとき、多くのポルシェ・ファ  
ンはつつき、これが連續と流れ  
911の系譜の、次なる伝道者だと  
信じた。30年以上も連れ合ってきた  
トーションバーのシャシーに別れを  
告げ、4WDやティップロニックと  
いう最新メカを新しい伴侶に、フル  
モデルチエンジンという呼び声も高く  
現れたのだ。誰でも、これからは964  
が新しいポルシェ、と思うだろう。  
しかし964は、ツナギのモデル  
だった。新しいテクノロジーを包む、  
モードルチエンジンといふ呼称も高く  
度高い器に合わせなかつたので、  
トーションバーのシャシーをかさ上げ  
し、エンジン搭載角を水平にして等  
速ジョイントとトルクチューブを通  
し、とまあ、成り立ちはそんなもの  
だ。早晚、テクノロジーと器をより  
高度にインテグレートしたモデルに  
入れ替える必然があつたのである。  
もちろん、スポーツカーに熱いシ  
ユトウツガルトの一団は、手を抜  
くことができない。ヨリインテグレ  
ートの度合いを高めたマシンの開発  
を急ぐ一方で、存在期間が短い964  
に、毎年こまめに手を入れた。そ  
もそも964はとても乗りやすいモ  
デルだった。だから結果的には、ト  
ラックなスタイルに乗り易さが実現  
された911が完成されたのだ。  
また、ターボ3・3、ターボ3・  
カブリオレのターボルック、そして  
最終年度にはスピードスターも登場。  
短いながら、そのモデルライフは百  
花繚乱にぎわいだつたのである。

4が新しいポルシェ、と思うだろう。  
しかし964は、ツナギのモデル  
だった。新しいテクノロジーを包む、  
モードルチエンジンといふ呼称も高く  
度高い器に合わせなかつたので、  
トーションバーのシャシーをかさ上げ  
し、エンジン搭載角を水平にして等  
速ジョイントとトルクチューブを通  
し、とまあ、成り立ちはそんなもの  
だ。早晚、テクノロジーと器をより  
高度にインテグレートしたモデルに  
入れ替える必然があつたのである。  
もちろん、スポーツカーに熱いシ  
ユトウツガルトの一団は、手を抜  
くことができない。ヨリインテグレ  
ートの度合いを高めたマシンの開発  
を急ぐ一方で、存在期間が短い964  
に、毎年こまめに手を入れた。そ  
もそも964はとても乗りやすいモ  
デルだった。だから結果的には、ト  
ラックなスタイルに乗り易さが実現  
された911が完成されたのだ。  
また、ターボ3・3、ターボ3・  
カブリオレのターボルック、そして  
最終年度にはスピードスターも登場。  
短いながら、そのモデルライフは百  
花繚乱にぎわいだつたのである。



透視図に見るカレラ4  
なるほど、4WD。

911の、選択の自由  
ボディのバリエーション  
ポルシェは、  
手前から、カブリオレ、タルガ、そして  
クーペの964ボディ。それぞれに  
魅力的で、選択肢は、自分  
と、舞台と、シチュエーションを思  
ふけば、助手席の顔を想像する、実際  
に検討できる幸福なスポーツカーの  
かも知れぬ、  
うして生まれた線だけが持つ美しさ。  
64になつて、この大きい伸びやかな曲で、  
包まねばならない。しかし、3  
56の頃のボディは、開放感あふれるフ  
ルオープントップのようだ。とはいえ、83年まで待った  
ポルシェは、デビューカーから間もない頃、  
911の世界だ。この大きな車を乗せたまま、  
走り、休める鳥のようだ。  
羽根を休める鳥のようだ。  
必要なサインを、必要な部分にあて、そ  
して、無駄な要素を極力排除して、そ  
の世界だ。

911のバリエーション

走る



透視図に見るカブリオレ  
オートマチックのイージーサード、マニュアルシフトの楽しさを両立させたテ  
イプトロニックは、三菱自動車などにも大きな影響を与えた。

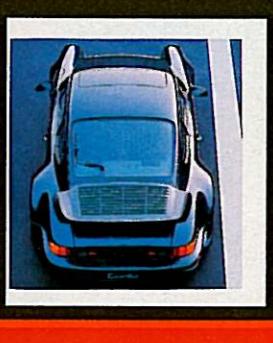


ポルシェ911の34年  
ピュアル版



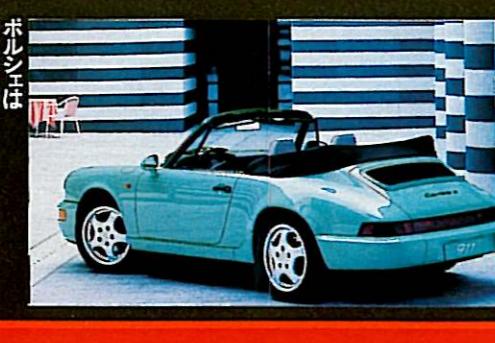
グラマラスな肢体を  
そつと休ませる淫鳥

羽根を休める鳥のようだ。  
必要なサインを、必要な部分にあて、そ  
して、無駄な要素を極力排除して、そ  
の世界だ。



オーブンを捨てない  
ポルシェは

911の世界だ。



911のデビューカーから間もない頃、  
ポルシェは、  
手前から、カブリオレ、タルガ、そして  
クーペの964ボディ。それぞれに  
魅力的で、選択肢は、自分  
と、舞台と、シチュエーションを思  
ふけば、助手席の顔を想像する、実際  
に検討できる幸福なスポーツカーの  
かも知れぬ、  
うして生まれた線だけが持つ美しさ。  
64になつて、この大きい伸びやかな曲で、  
包まねばならない。しかし、3  
56の頃のボディは、開放感あふれるフ  
ルオープントップのようだ。とはいえ、83年まで待った  
ポルシェは、デビューカーから間もない頃、  
911の世界だ。この大きな車を乗せたまま、  
走り、休める鳥のようだ。

走る